

CSポートフォリオについて

—令和2年度「学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究」
（学校を核とした地域力強化プラン）より—

2021年10月13日（水）
政策研究事業本部
公共経営・地域政策部
研究員 永野 恵

1. CSポートフォリオについてご紹介



CSの成果とは？

OCSの成果として、何を測るか？

児童・生徒の
資質・能力？

教職員の
多忙化の解消？

保護者の
学校への愛着？

児童・生徒の
地域への愛着？

地域住民の
学校参画？

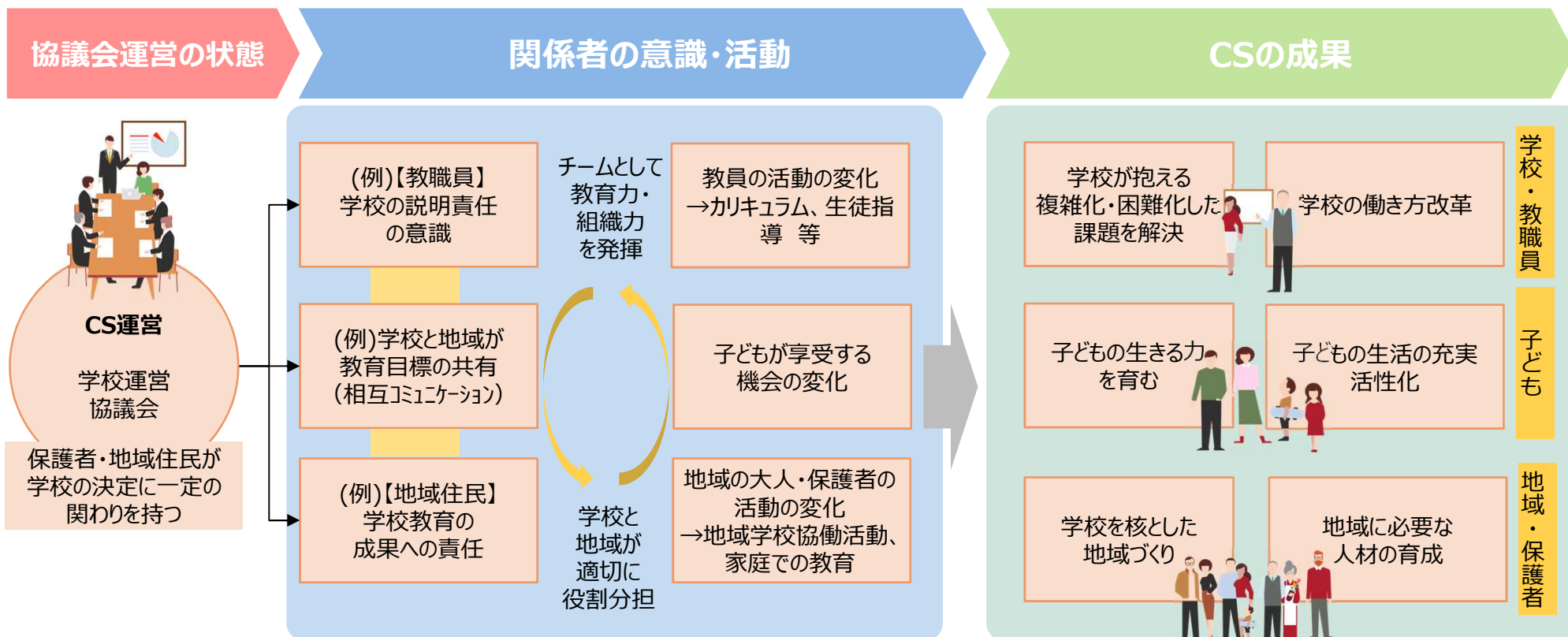
地域住民の
生きがい・つながりの醸成？



CSの成果を測るには？

OCSを評価するとき、何を測るか？

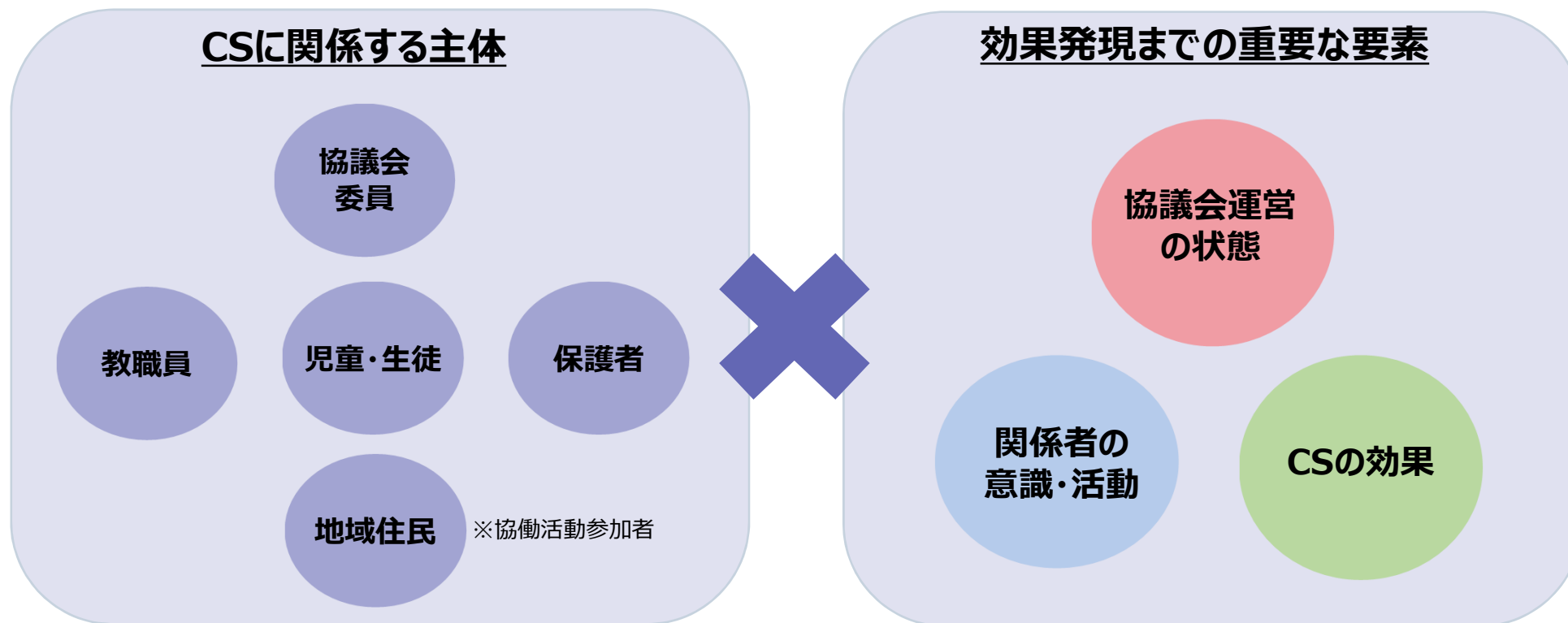
- 「CSの成果発現」に至るまでの、「協議会運営の状態」「関係者の意識・活動」について段階的に要素を把握
- 「なぜそのような成果が出ているのか（あるいは出ていないのか）」を明らかに
- 関係者の振り返りや改善策の検討に寄与





CSの成果を測るには？

- ✓ CSに期待される効果や効果発現のプロセスを踏まえ、CSポートフォリオは以下の要素で構成されています。



CSに関する **5つの主体**それぞれにおける、効果発現までの **3つの要素**の状態を把握します



CSの評価ツール：CSポートフォリオ

OCSポートフォリオとは？

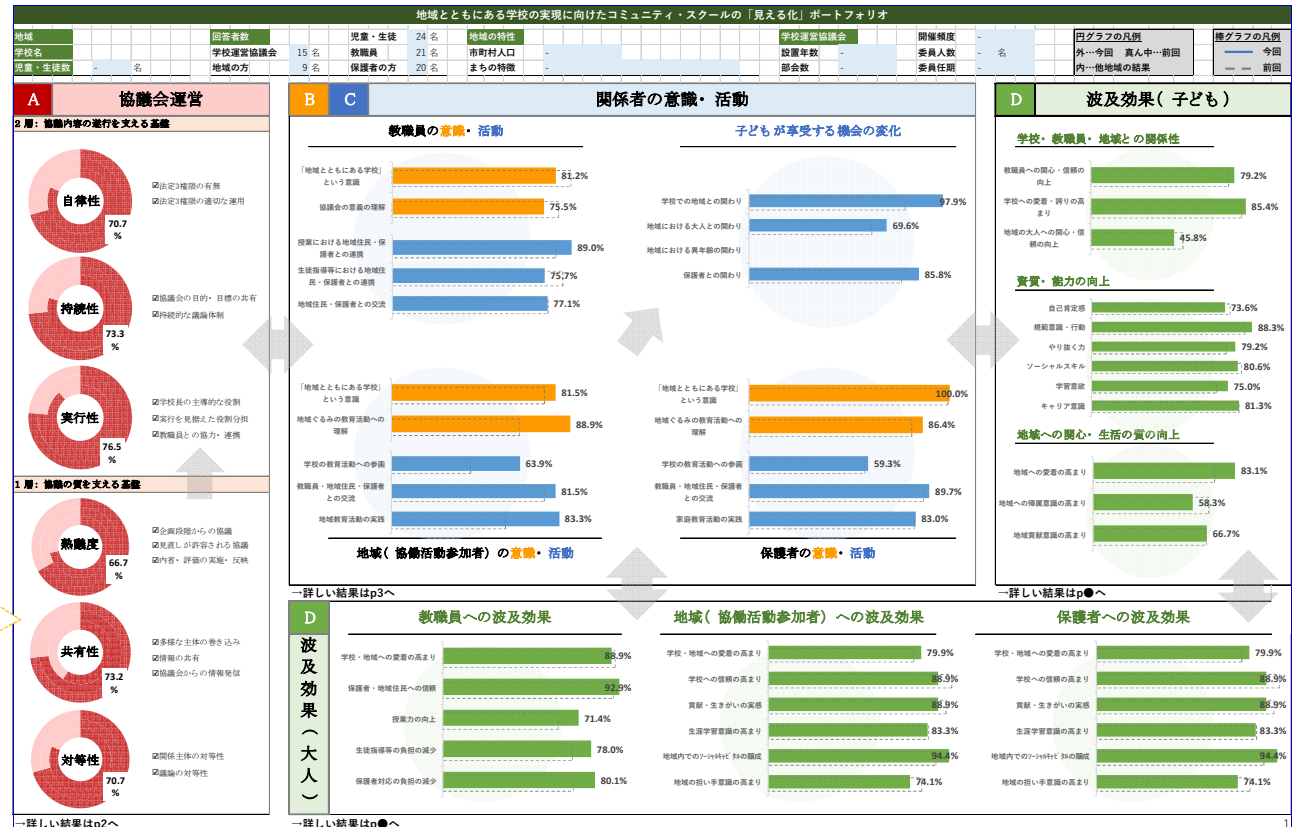
「地域とともにある学校」運営に取り組んでいる（取り組もうとしている）学校の

★CSの運営状態やCSの生み出す効果を可視化し、

★今後の学校運営の改善や、地域との協働の在り方の検討につながる

診断ツール（≒健康診断）

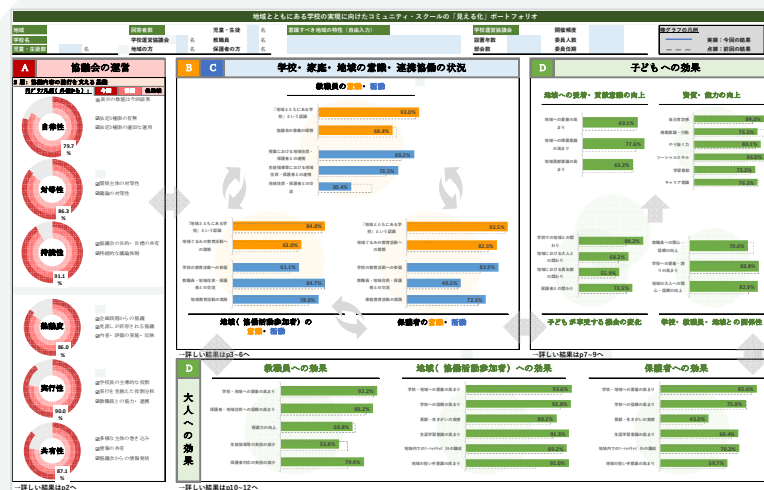
- CS関係者に対するアンケート調査を実施し、いくつかの要素に分けて、アンケート結果をグラフで示す
- 「地域とともにある学校」運営に関わる各主体の状況を、多面的に捉える点が特徴





CSポートフォリオを対話の材料に

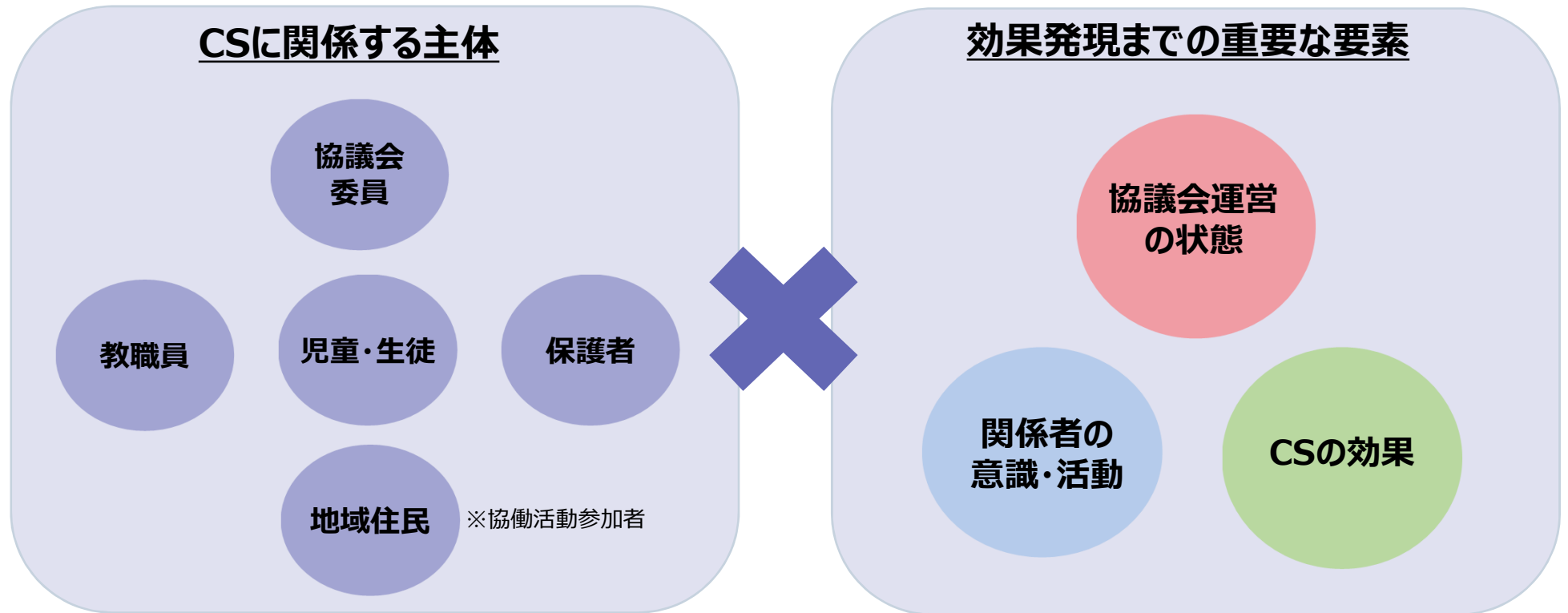
- ◆CSポートフォリオは、あくまで状態診断のためのツール（数値は善し悪しではない）
- ◆これを材料として、関係者間で「対話」を行うことが重要。



2. (参考) CSポートフォリオの構成要素

CSポートフォリオの構成要素

- ✓ CSに期待される効果の構造や効果発現のプロセスを踏まえ、CSポートフォリオを以下の要素で構成しました。



CSに関する **5つの主体**それぞれにおける、効果発現までの **3つの要素**の状態を把握します
(詳細は次ページ参照)

複数のCS関係者に対して、アンケート調査を実施して作成

- ✓ 既往学術文献やCSの現場での実践者へのヒアリングから、3つの要素（CSの効果、関係者の意識・活動、協議会運営）に設定すべき指標群を洗い出し、とりまとめました。
- ✓ そして、これらの指標をCS関係者（協議会委員、教職員、地域住民、保護者、児童・生徒）に対するアンケート調査を行い、その結果からCSポートフォリオが作成されます。

5つの主体×**3**つの要素 でアンケート項目を構成しています。

	協議会委員	教職員	地域住民	保護者	児童・生徒
CSの効果	—	・学校・地域への愛着の高まり ・授業負担の減少など	・学校・地域への愛着の高まり ・貢献・生きがいの実感など	・学校・地域への愛着の高まり ・貢献・生きがいの実感など	・資質・能力の向上 ・地域への愛着・貢献意識の向上 ・学校・教職員・地域との関係性
関係者の意識・活動	—	意識 ・「地域とともにある学校」という認識 など 活動 ・授業における地域・保護者との連携 など	意識 ・「地域とともにある学校」という認識 など 活動 ・学校の教育活動への参画 など	意識 ・「地域とともにある学校」という意識 など 活動 ・家庭教育活動の実践 など	—
協議会運営の状態	・自律性 ・対等性 ・持続性 （※内容は後述）	・熟議度 ・実行性 ・共有性	—	—	—

「協議会の運営」指標の構成要素

✓ 「協議会の運営」指標は、以下の6つの要素にて構成されています。

自律性

【構成要素】

- ・法定3権限の有無
- ・法定3権限の適切な運用

(法定3権限を有しているか等、協議会として自律的に議論する機能があるかを測る指標です)

熟議度

【構成要素】

- ・企画段階からの協議
- ・見直しが許容される協議
- ・内省・評価の実施・反映

(議題の確認や承認だけではなく、時に見直しを行うなど、深い議論ができているかを測る指標です)

対等性

【構成要素】

- ・関係主体の関係性
- ・議論の対等性

(協議会参加者の中で、対等な議論ができているかを測る指標です)

実行性

【構成要素】

- ・学校長の主導的役割
- ・実行を見据えた役割分担
- ・教職員との協力・連携

(協議会で決まったことが、実行までつながっているかを測る指標です)

持続性

【構成要素】

- ・協議会の目的・目標の共有
- ・持続的な議論体制

(教職員の異動に関わらず、持続的に議論ができる体制になっているかを測る指標です)

共有性

【構成要素】

- ・多様な主体の巻き込み
- ・情報の共有
- ・協議会からの情報発信

(協議会の協議事項が、周知・共有されているかを測る指標です)

「関係者の意識・活動」指標の構成要素

- ✓ 「関係者の意識・活動」指標は、教職員・地域（協働活動参加者）・保護者の3者について、以下に示す要素にて構成されています。

教職員の意識

【構成要素】

- ・「地域とともにある学校」という認識
- ・協議会の意義の理解

教職員の活動

【構成要素】

- ・授業における地域住民・保護者との連携
- ・生徒指導・生活指導における地域住民・保護者との連携
- ・地域住民・保護者との交流

地域の意識

【構成要素】

- ・「地域とともにある学校」という認識
- ・地域ぐるみの教育活動への理解

地域の活動

【構成要素】

- ・学校の教育活動への参画
- ・教職員・地域住民・保護者との交流
- ・地域教育活動の実践

保護者の意識

【構成要素】

- ・「地域とともにある学校」という認識
- ・地域ぐるみの教育活動への理解

保護者の活動

【構成要素】

- ・学校の教育活動への参画
- ・教職員・地域住民・保護者との交流
- ・家庭教育活動の実践

「CSの効果」指標の構成要素

- ✓ 「CSの効果」指標は、教職員・地域（協働活動参加者）及び保護者、子どもの4者について、以下に示す要素にて構成されています。

教職員への効果

【構成要素】

- ・学校・地域への愛着の高まり
- ・保護者・地域住民への信頼の高まり
- ・授業負担の減少
- ・授業力の向上
- ・生徒指導・生活指導の負担の減少
- ・保護者対応の負担の減少

地域への効果

【構成要素】

- ・学校・地域への愛着の高まり
- ・学校への信頼の高まり
- ・貢献・生きがいの実感
- ・生涯学習意識の高まり
- ・地域内でのソーシャルキャピタルの醸成
- ・地域の担い手意識の高まり

保護者への効果

※地域（協働活動参加者）と保護者の効果指標は共通です

子どもへの効果

【構成要素】

<資質・能力の向上>

- ・自己肯定感
- ・規範意識・行動
- ・やり抜く力
- ・ソーシャルスキル
- ・学習意欲
- ・キャリア意識

<地域への愛着・貢献意識の向上>

- ・地域への愛着の高まり
- ・地域への帰属意識の高まり
- ・地域貢献意識の高まり

<学校・教職員・地域との関係性>

- ・教職員への関心・信頼の向上
- ・学校への愛着・誇りの高まり
- ・地域の大人への関心・信頼の向上

